

南 監 査 号
令和2年8月21日

南幌町長職務代理者
南幌町副町長 大 崎 貞 二 様

南幌町監査委員 角 畠 徹
南幌町監査委員 佐 藤 妙 子

令和元年度決算に基づく南幌町財政健全化及び経営健全化審査意見書

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項及び第22条第1項の規定により、審査に付された令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類を審査した結果、その意見を次のとおり提出します。

記

1 審査の対象

令和元年度南幌町各会計決算に基づく実質赤字比率、連結赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）及びその算定の基礎となる事項を記載した書類、南幌町各公営企業会計（病院事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）決算に基づく資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

令和2年8月17日（1日間）

3 審査の概要

私たち監査委員は審査に付された、健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼に令和2年4月1日に公表、制定した「南幌町 監査基準」に基づき審査した。

4 審査の結果

（1）総合意見

審査に付された次の健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(2) 健全化判断比率

健全化判断比率	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－ %	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	－ %	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	11.9 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	70.1 %	350.0 %	

※実質赤字比率及び連結赤字比率については、赤字額がないため「－」で表示している。

(3) 資金不足比率

特別会計の名称	令和元年度 資金不足比率	経営健全化基準
病院事業会計	－ %	20.0 %
下水道事業特別会計	－ %	20.0 %
農業集落排水事業特別会計	－ %	20.0 %

※資金不足比率については、いずれの会計についても資金不足額がないため「－」で表示している。

(4) 個別意見

①実質赤字比率について

令和元年度一般会計決算については、実質収支が黒字となっているため、実質赤字比率は発生しない。

②連結実質赤字比率について

令和元年度一般会計及び公営事業会計の連結決算については、連結実質収支が黒字となっているため連結実質赤字比率は発生しない。

③実質公債費比率について

令和元年度の実質公債費比率は11.9 %となっており、早期健全化基準の25.0 %と比較すると13.1 %下回るとともに、起債にあたり許可を必要とする基準の18.0 %を6.1 %下回っている。単年度比率では、平成29年度11.2 %、平成30年度13.1 %、令和元年度11.4 %となり、工業団地売買に伴う財産収入を第三セクター等改革推進債償還金の特定財源とした影響等により、前年度と比較すると、1.7 %減少している。

令和元年度も前年度同様、実質公債費比率は18.0%を下回っており公債費負担適正化計画の策定義務はない。

④将来負担比率について

令和元年度の将来負担比率は70.1%となっており、早期健全化基準の350.0%と比較すると、これを279.9%下回っており、将来的には健全段階の水準にある。

なお、平成30年度の将来負担比率73.8%との比較では3.7%減少している。

⑤資金不足比率について

本町では公営企業会計（病院事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）に関して、資金不足は生じていない。

（５） 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。